

2 個別事業評価調書

団体名:与謝野町

事業名		有害鳥獣対策事業					
事業の概要		<p>相次ぐシカやイノシシなどによる農作物の被害に加え、近年では野生化したアライグマやヌートリア等の外来種の有害鳥獣による農作物の被害も増加し深刻な問題となっており、これらの被害への対策を講じるものである。</p> <p>電気柵等の防除施設を設置し、有害鳥獣の侵入を防ぎ、農作物被害の軽減を図る。また、大人数で広域的な捕獲を行い、まとまった捕獲や、鳥獣への威嚇ができ、より効果的に駆除を行うものである。</p> <p><有害鳥獣防除施設設置事業> 電気柵等設置補助</p> <p><板列町有林獣害防止ネット設置事業> 鳥獣害防護柵設置委託</p> <p><有害鳥獣広域捕獲事業> 広域駆除委託、備品購入、捕獲参加者保険料</p> <p><有害鳥獣(外来種)捕獲事業> 外来種捕獲委託、備品購入</p>					
		事業期間	平成21年度				
		総事業費	7,718	本年度事業費	7,718	交付金交付額	3,859
事業評価	事業の必要性	相次ぐシカやイノシシなどによる農作物の被害に加え、近年では野生化したアライグマやヌートリア等の外来種の有害鳥獣による農作物の被害も増加し深刻な問題となっており、これらの被害への対策が不可欠となっている。					
	事業の有効性	農家への有害鳥獣被害を軽減することにより本町の基幹産業の一つである農業の振興を図る。					
	事業の効率性	農作物の深刻な被害や、農家の有害鳥獣対策への労力を軽減させることで、農家の生産性の向上に繋がる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		電気柵等防除施設の設定により、有害鳥獣の侵入を防ぎ農作物被害の軽減が図られるものであり、農家が安心して農業に取り組める環境の整備に資するとともに、農家の生産意欲の増大が期待できる。					
3 リーディング・モデル成果							
有害鳥獣による被害を個人のものと考えず、地域の問題として取り上げ、地域と農業者が連携し対策を講じることが重要である。広域捕獲事業では、農業者も勢子(追い役)となり駆除者(撃ち手)と連携し効果的に行われるものである。							
4 広域的波及成果							
有害鳥獣対策を推進することにより、本町の基幹産業の一つである農業の振興を図る。農地保全に積極的に取り組むことで、人手不足・後継者不足等に悩む農家の軽減が図られ、担い手の確保・育成を図るものである。							
5 行財政改革に資する成果							
農作物の被害を防止することで、農作物の質・量の向上を図る。 また、広域捕獲事業では、大人数で広域的に捕獲を行うため、まとまった捕獲や、鳥獣への威嚇を行うことができ、より効果的な駆除が行われる。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。